



## 瀬戸内海を未来につなぐキーパーソンの想いを多角的に発信

瀬戸内オーシャンズX、CHANGE FOR THE BLUEの認知度を更に高めるため、露出強化、発信に注力する事業を展開。瀬戸内海に注目が集まるG7大臣会合に合わせたイベント開催や、海を未来へつなぐ活動を体現している方の声を届けるラジオ番組の制作・配信を通じて、県民の行動変容に繋がる発信が実現。また、全国有数の有人離島を有する香川県で離島の漂着ごみ問題に継続的に取り組むネットワークを構築。

その他事業:スポGOMI、企業連携事業、SOX連携事業など

## 2023年度 実施状況について

### G7関連イベントで発信



- 概要** G7都市大臣会合で注目を集める高松港湾地区でSOXの活動を周知するイベントを開催
- 目的** SOXの活動、また海洋ごみ対策に取り組む人の声を県民に伝える機会を創出する
- アピールポイント** ユース世代、漁業者、企業、助成団体など様々な出演者の活動内容を発信、また海洋ごみ対策への訴えが多くの方々に届いた
- 効果**
  - 【指標とした数字】来場者数5,000人以上
  - 【検証方法】連携イベント主催社(香川県)が来場者数をカウント
  - 【見られた成果】来場者数11,925人(会場全体)

### 海の環境を語るラジオ番組



- 概要** SOX4県の海洋ごみ問題や海を未来へ繋ぐ活動をしている方をゲストに迎えるラジオ番組パーソナリティは清野聡子九州大学准教授
- 目的** ゲストの活動を知り、リスナーが新しい発想を見つけ海の環境を守る行動変容に繋げる
- アピールポイント** 池田香川県知事をはじめ、媒体関係者、トラックYouTuberなど幅広い視野で海を未来へつなぐ方法を発信、アーカイブ配信も実施
- 効果**
  - 【指標とした数字】聴取エリア人口 95.6万人
  - 【検証方法】radiko聴取者数
  - アーカイブ配信HP閲覧数
  - 【見られた成果】聴取・閲覧数 他番組20%増

### 離島の海洋ごみ対策モデル



- 概要** 有人離島を自治体やボランティアなどと連携し、島しょ部の海岸の清掃活動イベントを開催
- 目的** 離島の現状把握と地域情報力を活用して、島外ボランティアや自治体などネットワーク構築、継続活動の基盤作り
- アピールポイント** 自治体と企業、漁業者、教育機関、ボランティア団体、助成事業者等とのネットワークを構築、メディアでの発信も実施
- 効果**
  - 【指標とした数字】有人島 24島
  - 【検証方法】清掃島数、連携団体数
  - 【見られた成果】2024年3月に全島実施完了予定

### 海ごみゼロウィーク



- ごみ拾い参加人数 **1,763人** 箇所数 **9箇所**
- アピールポイント** 学校、企業、ボランティア団体など幅広い団体にご協力いただいた。また、流通店舗で海ごみゼロウィークと連動した海洋ごみパネル展開催の打診があるなど、活動の広がりを創出できた。

### メディア露出



- メディア露出本数 **テレビ11本以上、ラジオ40本**
- アピールポイント** 自社媒体(テレビ)では主要なイベントは全て取材し、報道ニュースや情報番組で放送。NHK高松放送局や新聞媒体の取り上げなど、露出が広がった。

## 2023年度の課題とこれからの展望

活動の露出強化・情報発信に注力した結果、多くの県民はもちろんラジオアーカイブなどを通じて多くの方に訴求啓発を行えたが、各事業を計画的に連動性をもたせることで、更に多くの県民を巻き込めたことは否めない。今期築いたネットワークを発展拡充させ、事業を推進し、県民が海ごみ問題を意識し行動に移すアクションを広げたい。